



平成 29 年 11 月 6 日

各 位

会社名 株式会社 小林 洋 行
代表者名 代表取締役社長 細 金 成 光
(コード番号 8742 東証第一部)
問合せ先 取締役業務部長 渡 辺 宏
(TEL 03-3664-3511)

(訂正・数値データ訂正)

「平成 30 年 3 月期第 2 四半期 連結業績速報値に関するお知らせ」の一部訂正について

平成 29 年 10 月 27 日に公表しました「平成 30 年 3 月期第 2 四半期 連結業績速報値に関するお知らせ」につきまして一部訂正すべき事項がありましたので、下記のとおりお知らせいたします。また、数値データにも訂正がありましたので、訂正後の数値データも送信いたします。なお、訂正箇所につきましては下線を付して表示しております。

記

1. 訂正の理由

本日同時に公表しております「(訂正)「営業外収益及び特別利益の計上に関するお知らせ」の一部訂正について」の記載のとおり、平成 30 年 3 月期第 2 四半期(連結)に計上する予定であった営業外収益(持分法による投資利益)の計上を取りやめたことに伴い、経常損失及び親会社株主に帰属する当期純損失を訂正しております。

2. 訂正内容

(訂正前)

1. 平成 30 年 3 月期第 2 四半期連結累計期間の速報値(平成 29 年 4 月 1 日～平成 29 年 9 月 30 日)

(単位:百万円)

	営業収益	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する 四半期純利益
平成 30 年 3 月期第 2 四半期(速報値)	1,629	△200	<u>△109</u>	<u>△95</u>

(訂正後)

1. 平成 30 年 3 月期第 2 四半期連結累計期間の速報値(平成 29 年 4 月 1 日～平成 29 年 9 月 30 日)

(単位:百万円)

	営業収益	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する 四半期純利益
平成 30 年 3 月期第 2 四半期(速報値)	1,629	△200	<u>△158</u>	<u>△121</u>

(訂正前)

2. 連結業績の概要

当第2四半期連結累計期間における当社グループの主要な事業の営業収益の内訳は、投資・金融サービス業では受取手数料が567百万円（前期比12.4%減）、自己売買損67百万円（前期は売買損11百万円）となりました。また、生活・環境事業は419百万円（前期比1.1%減）、スポーツ施設提供業は232百万円（前期比4.4%減）となり、不動産業は405百万円（前期比3.0%減）となっております。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、営業収益1,629百万円（前期比9.1%減）、営業損失200百万円（前期は営業損失57百万円）、経常損失109百万円（前期は経常損失8百万円）となる見込みであります。また、負ののれん発生益16百万円などによる特別利益23百万円を計上しましたが、映像コンテンツ配信事業の廃止に伴う固定資産売却損48百万円及び金融商品取引システム移行に伴う作業費用29百万円などの特別損失80百万円を計上したため、親会社株主に帰属する四半期純損失は95百万円（前期は親会社株主に帰属する四半期純損失31百万円）となる見込みであります。

(訂正後)

2. 連結業績の概要

当第2四半期連結累計期間における当社グループの主要な事業の営業収益の内訳は、投資・金融サービス業では受取手数料が567百万円（前期比12.4%減）、自己売買損67百万円（前期は売買損11百万円）となりました。また、生活・環境事業は419百万円（前期比1.1%減）、スポーツ施設提供業は232百万円（前期比4.4%減）となり、不動産業は405百万円（前期比3.0%減）となっております。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、営業収益1,629百万円（前期比9.1%減）、営業損失200百万円（前期は営業損失57百万円）、経常損失158百万円（前期は経常損失8百万円）となる見込みであります。また、負ののれん発生益16百万円などによる特別利益23百万円を計上しましたが、映像コンテンツ配信事業の廃止に伴う固定資産売却損48百万円及び金融商品取引システム移行に伴う作業費用29百万円などの特別損失80百万円を計上したため、親会社株主に帰属する四半期純損失は121百万円（前期は親会社株主に帰属する四半期純損失31百万円）となる見込みであります。

以 上